

---

---

# 【商品紹介】 グルソーユーキ



明京商事株式会社

MEIKYO TRADING Co.,Ltd.

東京都神田錦町2-9コンフォール安田ビル

03-6662-5611

<http://meikyo-shoji.co.jp/> 1



# グルソーユーキ（アミノ酸肥料）

## 【成分】

商品名	保証成分								
	TN	AN	TP	SP	CP	WP	WK	CMg	WB
グルソーユーキ280	12.0	11.0	8.0	8.0		5.5	10.0		
グルソーユーキS082	10.0	8.5	18.0		17.9	11.5	12.0	1.0	0.30

### グルソー有機S082

有機物乾物重量 約15%、アミノ酸 約10%  
有機態窒素 1.5%、アミノ酸由来窒素 1.1%

### グルソー有機280

有機物乾物重量 約10%、アミノ酸 約7%  
有機態窒素 1.0%、アミノ酸由来窒素0.7%

## 【容器デザイン表】



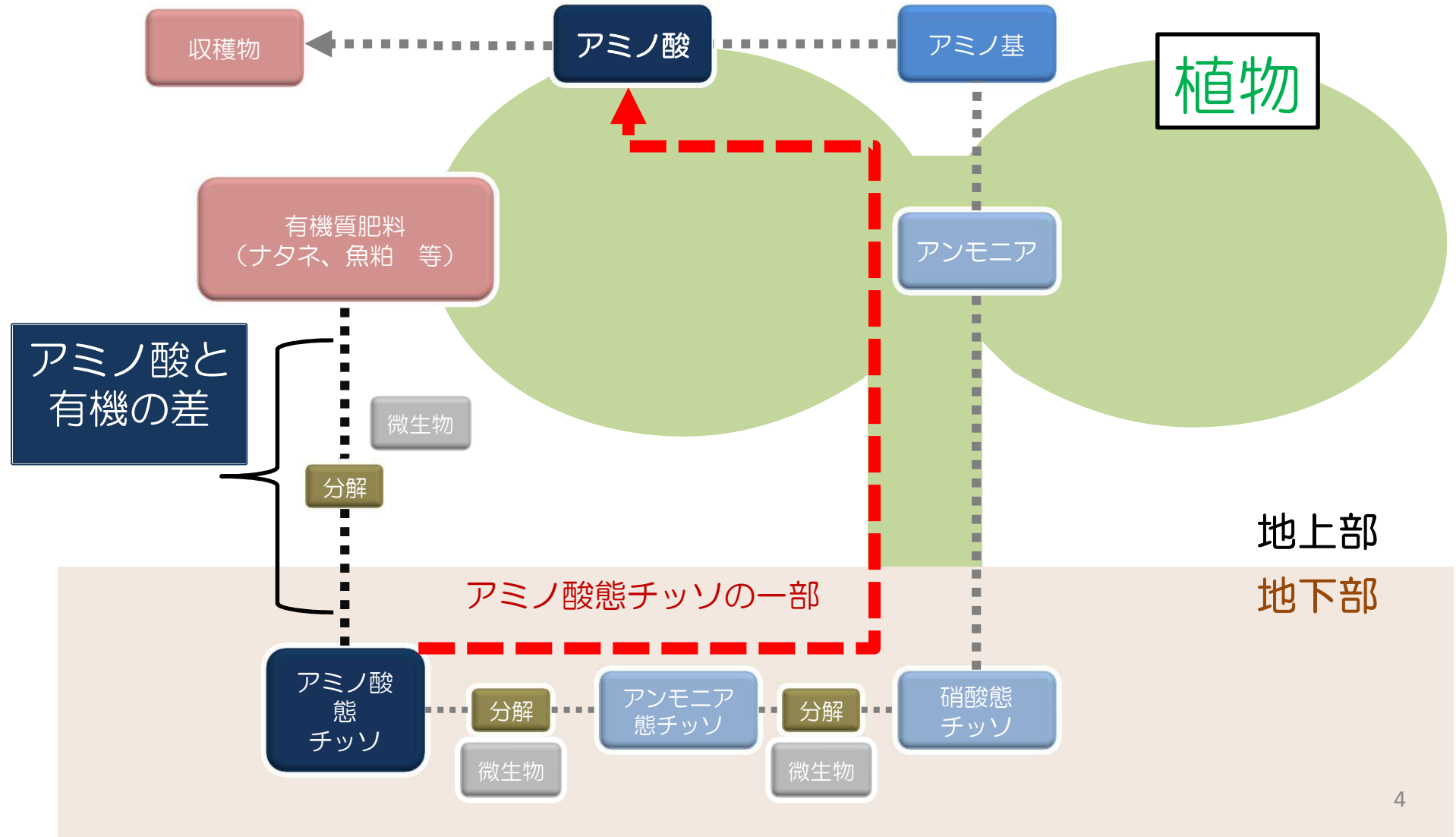
※容器左下部に旧(韓国品)、新(国産品)の変更文面が記載。尚、今後は無くなる予定。



## グルソーユーキの特長

- ①作物に直接吸収される**速効性**  
(アミノ酸と有機の違い)
- ②粗大有機は分解過程でガス、カビ、有害菌が発生するが、アミノ酸は有用菌(糸状菌)が発生し病気の発生がない  
(アミノ酸と有機の違い)
- ③**低温**でも効き、**肥効**の維持  
(アミノ酸と有機、無機の違い)
- ④土壌改良効果による**地力UP**(バクテリア型土壌)  
(アミノ酸と無機の違い)
- ⑤キレート効果で**りん酸**を有効活用  
(アミノ酸と無機の違い)

## ①作物に直接吸収される**速効性**(アミノ酸と有機の違い)



グルソー有機は何故早く効くの  
グルソー有機の有機はアミノ酸だからです。

①アミノ酸は粒子が小さく、水と一緒に吸収され直ぐ効果が出ます。

分子量が75～174です。

除草剤のラウンドアップは、分子量が228と小さいので、すぐ吸収され効果が出ます。

一般の有機化成の有機態窒素は動物粕、植物粕が原料でタンパク質です。

タンパク質は分子量が10000以上でアミノ酸に分解されなければ吸収されません。

②アミノ酸は吸収されて直ぐに作物の成長に役立ちます。

アミノ酸は全部で20種類ですが、グルソー有機には17種類のアミノ酸が入っています。

アミノ酸名	親水性/疎水性	平均	最小値	最大値
1 リジン	親水性	2.54	1.56	3.19
2 アスパラギン酸	親水性	5.78	5.50	6.05
3 スレオニン	親水性	1.32	0.30	1.82
4 セリン	親水性	0.64	0.02	0.92
5 グルタミン酸	親水性	8.39	8.18	8.74
6 グリシン	親水性	3.39	3.22	3.64
7 アラニン	疎水性	5.86	5.61	5.99
8 システイン	親水性	0.01	0.00	0.28
9 バリン	疎水性	4.11	3.98	4.25
10 メチオニン	疎水性	1.99	1.75	2.33
11 イソロイシン	疎水性	2.64	2.07	2.90
12 ロイシン	疎水性	5.10	4.94	5.40
13 チロシン	疎水性	1.27	1.18	1.43
14 フェニルアラニン	疎水性	2.54	2.34	2.87
15 ヒスチジン	親水性	1.21	1.00	1.35
16 アルギニン	親水性	2.88	2.04	3.49
17 プロリン	疎水性	0.91	0.58	1.09
TOTALアミノ酸(17)		50.57		

② 粗大有機の分解ではガス、カビ、有害菌が発生するがアミノ酸は有用菌（糸状菌）が発生し病気の発生がない  
 (アミノ酸と有機の違い)





# グルソーユーキの特長

## ③低温でも効き、肥効の維持(アミノ酸と有機と無機の違い)

アミノ酸について低温下でアンモニア、硝酸よりも良い生育を示す文献報告あり。(日本植物生理学会より抜粋)

### 【北海道でのタマネギ試験】 試験区：グルソー、慣行区：NS121 (NN1.5%) 《生育初期》 《収穫期》



	草丈(cm)
試験区	38.0
慣行区	33.1



規格	慣行区			試験区		
	個数	総重量(g)	割合	個数	総重量(g)	割合
2L	2	720	7%	8	2,940	29%
L大	20	5,460	67%	18	5,080	64%
L	8	1,640	27%	2	460	7%
合計	30	7,820	100%	28	8,480	100%

10a収量、 慣行区 6.08t 試験区 6.59t (慣行対比 108%、7掛け)

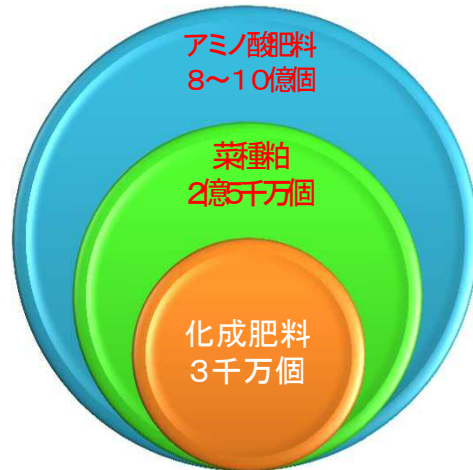
## ④ 土壤改良効果による地力UP (バクテリア型土壤) (アミノ酸と無機の違い)

### ○ アミノ酸肥料による有効微生物の増殖効果

有機質が多いと土の中は微生物が増えます。

微生物が増えると連作で増殖した土壤病害菌の密度を減らします。

アミノ酸肥料	菜種粕	化学肥料
8~10億個	2億5千万個	3千万個



土壤1g中の微生物数

**B/F値の改善！！**

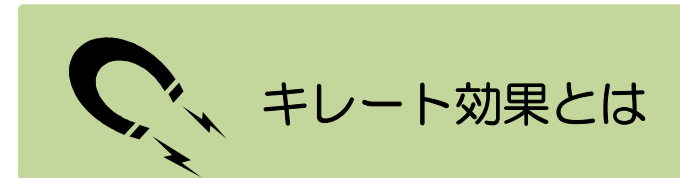
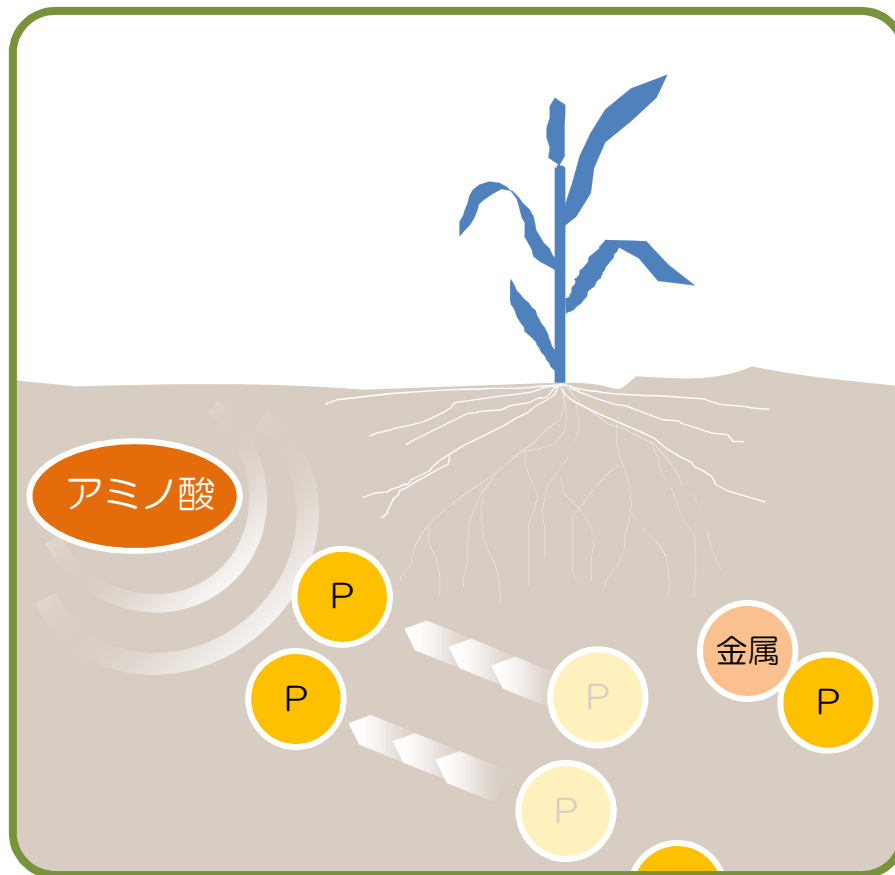
※ 理想的なバクテリアと糸状菌（フザリウムなど）の比率は、**2000 : 1**と言われている。

このバランスが乱れることで糸状菌由来の病害が発生しやすくなる。



## ⑤キレート効果でりん酸を有効活用(アミノ酸と無機の違い)

アミノ酸のキレート作用により、りん酸を有効化し、作物に吸収させる。



キレートとは「かにハサミ」の意味です。キレート作用は「かにハサミ」のように金属イオンと強く結合し、安定な化合物を作る作用であり、吸収され易くなります。